



もり もと ゆう いち
森本雄一さん

兵庫県立東播工業高等学校教諭

神戸市出身。昭和57(1982)年、兵庫県立高校の理科教員に。平成21(2009)年、大学院修士課程自然系コース(夜間クラス)を修了し、現在は東播工業高校で物理を担当。昨年、加古川市に教員のための研修施設「自然とかがくの学び舎ファラデーラボ」を設立した。



▶昨年3月のファラデーラボの開所式には理科教育関係者ら約50人が参加しました

若手教員向けの研修施設を開き 実験の楽しさを伝えています

工業高校で理科を教える中で、小中学校の理科との連携の重要性を切実に感じ、53歳で大学院夜間クラスに入学しました。修士論文は「なぜ生徒実験をしなければならぬのか」をテーマに、生徒実験の歴史や教育効果について研究しました。

大学院での学びを通して、自分で実験することの大切さを再認識しました。近年、理科の授業時間が縮小されて、学生や若い教員が実験を十分に経験していないことに対して危機感を持っていました。そこで、加古川市郊外に一軒家を購入して、20人ほどが実験できる研修施設「自然とかがくの学び舎ファラデーラボ」を設立。兵教大修了生や退職教員が若い教員に実験、観察を伝授しています。また、大学教員と大学院同窓会との共同研究として「兵教大学生・院生のための理科に強い教員をめざす実験・観察講習会」も実施しています。今後も後進に実験すること、学ぶことの楽しさを伝えていきたいです。



ぬま た り え
沼田梨絵さん

丹波市立芦田小学校教諭

姫路市出身。平成23(2011)年、学校教育学部学校教育系コースを卒業し、現任校に着任。今年度は2年生を担当している。



▶最近教材を研究する面白さが分かってきました

大学時代の友人は財産 今も励まし合う心強い存在です

教員になって2年目、昨年は初めて暮らす丹波の土地に戸惑うことも多かったのですが、大学の友人たちと連絡を取り合い、悩みを相談しました。みんな、不安や自分の無力さに苦しみながらも頑張っていることが分かり、とても励まされました。

兵教大はゼミやクラブ活動、寮生活などを通して、深い人間関係をつくる機会に恵まれた環境です。在学生の皆さんは、ゼミの研究や採用試験の勉強について、もつと自分の考えを語った方がいいと思います。何熱くなってるの?と思われるのではないかと不安になるかもしれませんが、真剣な話ができる人間関係を築くことは大切なことです。

ゼミやクラブ活動など、自分の周りにいる人たちを大切にしてください。人間関係でぶつかったり、折れたりしながら、人として真摯に向き合うことの大切さを知るのだと思います。私も子どもたちにそんな姿勢を見せていきたいと思っています。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ 教育実践研究活動等に係る表彰について

7月28日、29日に神戸市で開催した第32回大学院同窓会総会で、平成24(2012)年度「教育実践研究活動等に係る表彰」を行いました。この表彰は、教育実践研究活動等に顕著な成果を挙げ、大学や大学院同窓会の名誉を著しく高め

た修了生が対象。今年度は4人を表彰しました。詳しくはHyokyo-netをご覧ください。

◎被表彰者(敬称略)

嬉野賞/難波治彦(3期・自然系、岡山県)

奨励賞/池田恩四郎(3期・自然系、愛媛県)

特別賞/吉田廣(1期・教育方法、兵庫県)、山下裕(5期・芸術系、広島県)